

# 交付金

経済・地域の活性化、安全・安心の確保

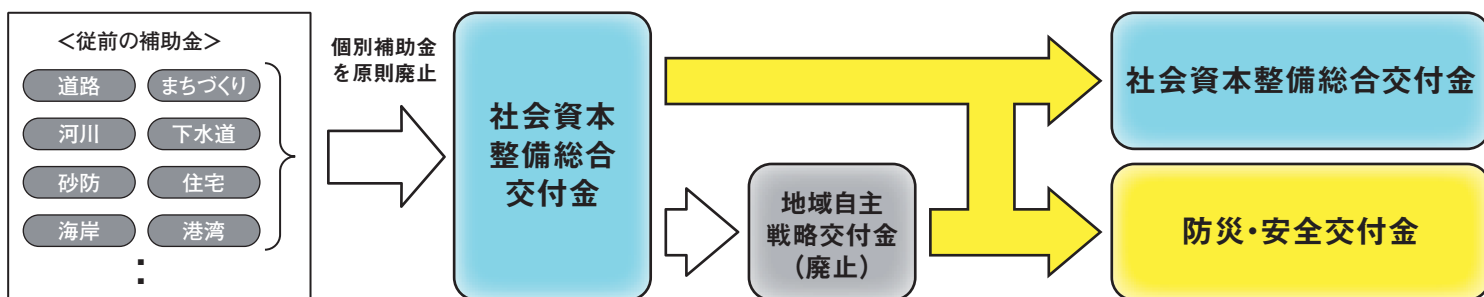
## 社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金

### 社会資本整備総合交付金

国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。

### 防災・安全交付金

地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設。



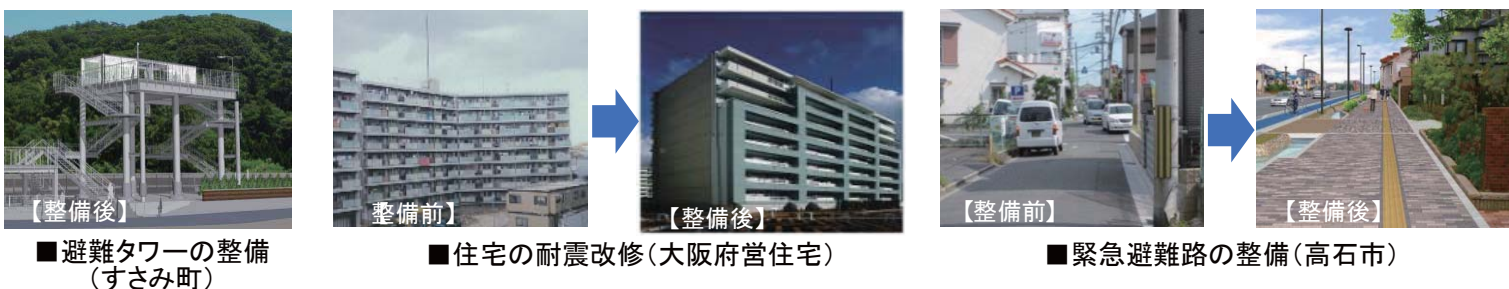
### 両交付金の特長(個別補助金との違い)

- ◇ これまで事業別にバラバラで行ってきた関係事務を一本化・統一化
- ◇ 計画に位置付けられた事業の範囲内で、地方公共団体が国費を自由に充当可能
- ◇ 基幹となる社会資本整備事業の効果を一層高める事業についても、創意工夫を生かして実施可能

### 主な交付金事業の紹介(都市・住宅関連)

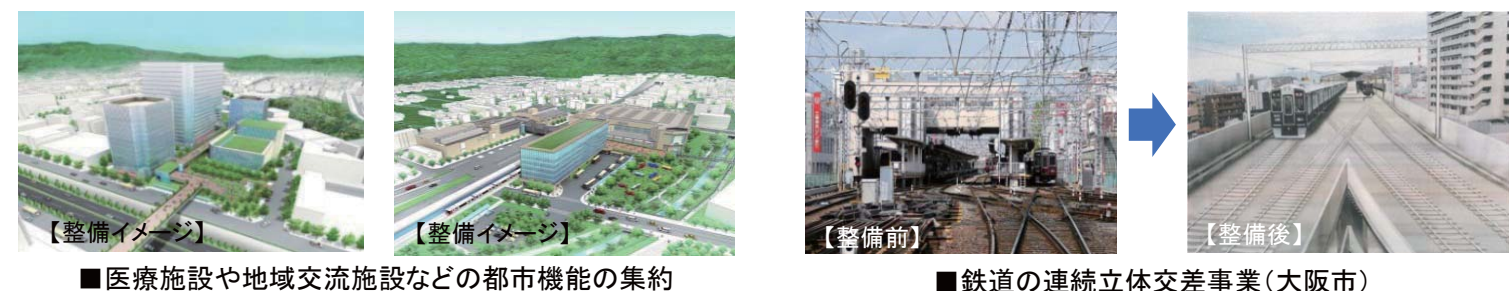
#### ①地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援

国土強靱化等の取組により国民の安全・安心の確保を推進する観点から、頻発する風水害・土砂災害や大規模地震・津波に対する総合的な防災・減災対策、インフラ長寿命化計画を踏まえた総合的な老朽化対策等を緊急に進める総合的な整備計画に対して重点的に支援します。



#### ②活力ある地域の形成、豊かに暮らせる生活環境の整備、及び競争力強化のための社会資本の総合的整備

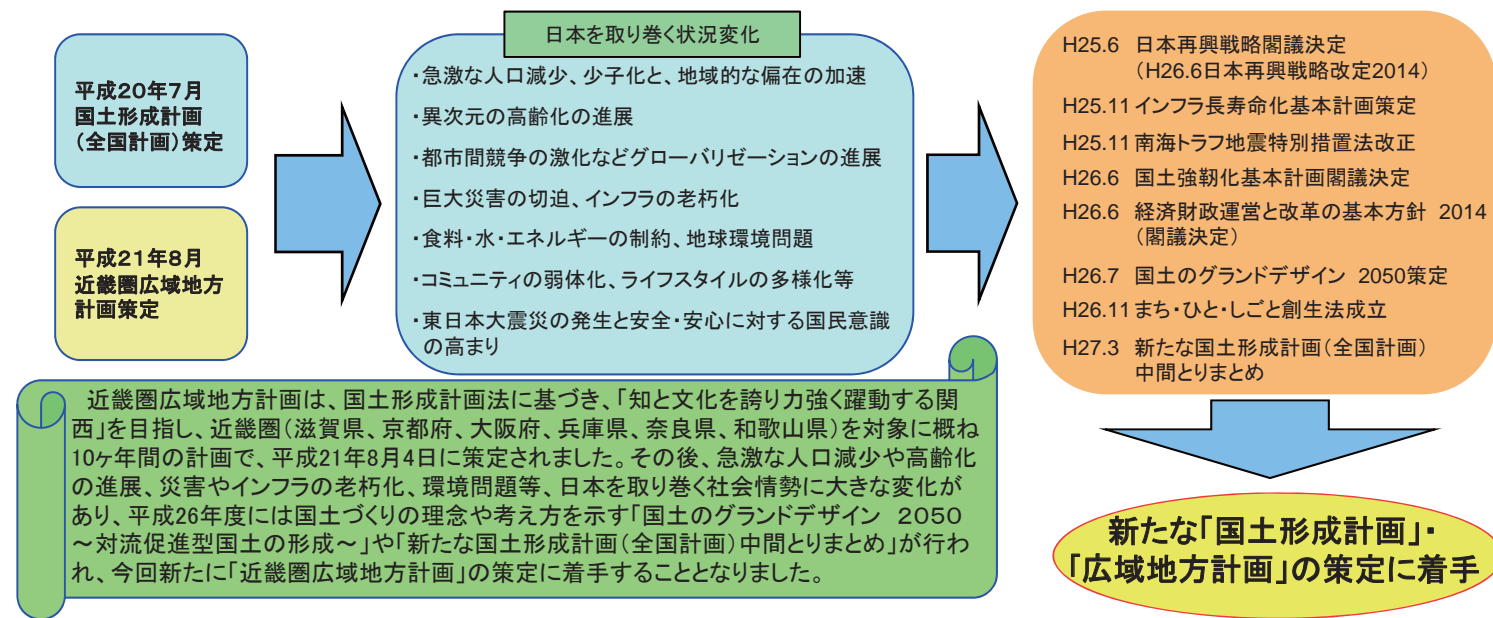
経済・地域の活性化を推進する観点から、都市・地域の競争力を強化する成長基盤の整備、「コンパクト+ネットワーク」の推進や豊かな生活環境の整備、観光・産業振興の取組の強化など、PPP/PFIの活用等により官民の多様な関係者が連携して取り組む、あるいは民間投資を喚起する総合的な整備計画に対して重点的に支援します。



# 計画

知と文化を誇り力強く躍動する関西

## 近畿圏広域地方計画



# 新たな取り組み

### 「魅せる!現場」の取り組み



#### 【現場見学】

普段は立ち入る事ができない工事現場や施設を、近畿地方整備局の職員が分かり易く案内します。

平成25年10月～平成27年3月までに、183回開催、5,214人が、魅せる!現場を見学しました。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/genbakengaku/index.html>

#### 【現場を支える人々編】

魅せる!現場「人々編」の専用サイトを開設。河川、道路、砂防など5箇所の事業で、現場を支える人々に焦点をあてて、現場での苦労話や建設業の魅力を一般の方にも分かりやすく伝える内容。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/hitobitohen/index.html>

### クルーズ振興に関する取組

#### ○免税制度の拡充

訪日外国人の旅行消費を拡大することにより、地域の活性化を図るため、臨時出店する仮設店舗の免税許可申請が簡素化されました。

[https://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/pamph/pdf/yusyutuseido\\_kaisei2015.pdf](https://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/pamph/pdf/yusyutuseido_kaisei2015.pdf)



### 維持管理研修の充実・強化

近年、高度成長期に建設された橋梁等の老朽化が進展し、通行止めになる区間が急激に増加しています。このため、平成26年3月に道路法施行規則が改正され、5年に1度すべての橋梁・トンネル等の点検・診断を行うことが道路管理者に義務づけられましたが、自治体では技術者の不足が課題となっています。そこで、近畿地方整備局では、自治体職員も参加できる整備局技術職員対象の研修を行い、技術力向上の支援をしています。

